

平成30年度 第1回 熱海市総合教育会議 会議録

開催日時：平成30年6月25日（月） 15時30分～16時55分

会 場：熱海市役所第3庁舎第1～3会議室

出席者：【構成員】市長[議長]・教育長・水野委員・柳町委員・木田委員・高石委員

【関係者】副市長・経営企画部長・健康福祉部長

【事務局】経営企画部次長(兼)企画財政課長・教育委員会事務局次長・学校教育課長

議 事：(1) 平成30年度 教育行政の基本方針と主要施策について
(2) 教育振興基本計画・後期基本計画の進捗状況について
(3) 次期教育大綱の策定に向けて

議事要旨：以下のとおり。

1. 開 会

(事務局)

定刻となりましたので、ただいまより平成30年度第1回熱海市総合教育会議を開催いたします。本日の進行をつとめさせていただきます経営企画部次長の小林です。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、市長より、開会の挨拶をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

(市長)

みなさん、こんにちは。開会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、お忙しい中、平成30年度 第1回 熱海市総合教育会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、日ごろより熱海市の子ども達の教育の充実と発展に大変なご尽力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。教育委員として引き続き水野委員、そして、本年3月より柳町委員、このたび、引き続いて木田委員、新たに高石委員が就任されました。また、4月には新村教育長が就任され、新たな体制で教育委員会がスタートいたしました。このメンバーでの総合教育会議の開催は、今回、初めてとなります。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、改めましてこの会議の意義でございます。この会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により設置され、首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずるべき施策等について、協議・調整を行う場でございます。この会議は、平成27年度の設置以降、これまでに5回開催され、重点施策である「熱海市教育振興基本計画・後

期計画」や「学校施設の適正規模・適正配置計画」等について議論してまいりました。

また、昨年度の会議では、平成32年度からの次期、教育大綱の策定に向け、委員の知識を深化させる等の目的で、部会の設置をご承認いただきました。

本日の会議におきましては、平成30年度の教育行政の基本方針と主要施策について、熱海市教育振興計画・後期基本計画の進捗状況について及び次期教育大綱の策定に向けて、等の議論を進めて参りたいと思います。

これらのテーマに対して、教育委員としての皆様のさまざまな立場から、教育に対する自由なご意見を伺い、お互いに意思の疎通を図り、教育行政の推進を図って参りたいと思いますので、皆様の活発なご意見をお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。つづきまして、教育長より、挨拶をお願いいたします。

3. 教育長あいさつ

(教育長)

皆様こんにちは。本日は、総合教育会議を開催していただきありがとうございます。

2018年、今年は教育界におきましては大きな変革の時期でございます。およそ、10年に1度のペースで学習指導要領は改訂されております。幼・小・中学校においては、2016年3月に、高等学校においては2017年3月に改訂され、幼稚園におきましては、今年から完全実施の運びとなりました、小中学校についても、今年から移行期間となり、先行実施が始まっております。学習指導要領の改訂と連動して、今年の3月には中央教育審議会から、第三期総合教育基本計画の答申が示され6月には、閣議決定されました。静岡県からも、4年間を見通した、ふじのくに「有徳の人」づくり大綱、静岡県教育振興基本計画が示されました。お手元に資料として準備されているかと思っております。

熱海市におきましても市長が先ほど述べましたように、2020年度からの時期教育大綱策定に向けて、今年から議論を始めさせていただくこととなります。

このような節目の年に、市長部局と教育委員会が、その連携をさらに強め、熱海市の教育の質の向上が図られますことに大きな期待を込めまして、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局)

ありがとうございました。先ほどの市長の挨拶のなかでもございましたが、本年度の総合教育会議におきましては、今回が初顔合わせとなります。教育委員の皆様から一言ずつご挨拶をいただきたいと思っております。

4. 教育委員あいさつ

水野委員→木田委員→柳町委員→高石委員の順にあいさつがなされた。

(事務局)

ありがとうございました。それでは早速、議事に入らせていただきます。会議の進行につきましては、本会議の主宰者であります市長を議長として進行をお願いします。

(市長)

それでは議事に入らせていただきます。円滑な会議の進行にご協力をお願いいたします。本日最初の議題は、「平成30年度教育行政の基本方針と主要施策について」です。事務局から説明をお願いします。

5. 議事(1) 平成30年度 教育行政の基本方針と主要施策について

(事務局)

資料1にもとづき説明

(市長)

ありがとうございます。以上で事務局からの説明は終わりました。ただいまの件について、ご意見、ご質問のある方はおられますか？

(委員)

平成30年度の基本方針と主要施策については、定例会の中で何度も揉んで、このようになりました。特に、(仮称)認定こども園整備事業については計画どおり進めていただけるよう、お願いをしたいと思います。それから基本的な柱というのは、今まで重ねてきたものがありますので、それについても一つ一つ進めていってほしいと思います。

(市長)

他にご意見はございますか。

他に無いようですので、次の議題に移らせていただきます。

議事(2) 教育振興基本計画・後期基本計画の進捗状況について

(事務局)

資料2にもとづき説明

(市長)

ありがとうございます。以上で事務局からの説明は終わりました。ただいまの件につい

て、ご意見、ご質問のある方はおられますか？

(委員)

後期の課題の中に、「熱海らしい特色ある教育の推進」とありますが、それについて具体的なものをお示しいただきたいと思います。

(事務局)

後期基本計画の目標1「子どもの力を伸ばします」の中で「熱海らしい特色のある教育の推進」ということで位置づけられています。これまで本市として実施してきた主な施策としましては、小学校・中学校外部講師による夢先生事業、離島高校生修学支援費補助、中学校区を中心とした保・幼・小・中連携、中学校部活動補助を行ってきました。以上が、熱海らしい特色のある教育の推進として、本市が行ってきた主な施策でございます。

(委員)

ご説明ありがとうございます。後期の計画も今までの事業と同じような形で、それを一部厚くしていこうという理解でよろしいかということと、これに加えて、こんなこともしていたらというものが現時点で具体的にあれば、無ければ結構です。

(事務局)

現時点で、これ以外に「熱海らしい特色のある教育の推進」というものはありません。今後、次期教育振興基本計画、教育大綱に、教育委員の皆様のご意見を踏まえて盛り込めれば、と事務局としては考えています。

(委員)

先日、熱海駅に行った時に、第一小学校と桃山小学校の子ども達の「今、熱海の海岸にはジャカランダが咲いています。」というアナウンスが聞こえました。子どもがこのようなことをしているのかなと思いつつも、非常に新鮮な感じを受けました。熱海は観光で子ども達がそういう放送をするということは、降りてきたお客様にも「そうか」と。大人が宣伝するより、子どもの放送が非常に新鮮でした。熱海らしい教育というのは、こういうことを何か使って、教育課程に組んでいたらそういうこともできる。他所から来た人も「やっぱり熱海だよな。」というものを見るのが熱海らしいということだと思います。

(事務局)

JRデスティネーションキャンペーンのプレイベントを今年の4月から6月まで行って

いますが、その中で今委員さんが言ったとおり、小学生の声で熱海市の観光地、イベントの放送をご協力いただけないかとJRさんからお声がけがありまして、先月、学校で推薦をいただいて、小学生の放送を開始したというのが経緯でございます。

(委員)

こんなこと今まで聞いたことがなかったので、非常に新鮮で、熱海にとっていいことだと思います。これが教育になるかどうかは別として、何か計画の中に組んでいったら、子ども達もお客様も喜ぶと思います。自分たちのことでお客様が増えたとか、喜んでもらったとか。ただそれだけの宣伝なら困りますが、何か結びつけることはできないか。放送を聞いて思いました。

(市長)

確か以前、バスの車内でも放送をしました。事務局から説明があったとおり、今回はステーションキャンペーンのプレイベントとして行いますが、おそらくJRの視点は、通常のアナウンスよりも子どもの声の方が、お客様に対してPR出来るということだと思います。我々市民の立場、子ども達の立場からすると、熱海は観光で成り立っているまちなんだと実感できるいい機会になるのではないかと、個人的には思います。それで委員が言われたとおり、それが教育なのかどうか。これは一つのきっかけかもしれませんが、新しい試みとして、駅の構内アナウンスを子ども達にしてもらったということです。

(委員)

観光地に限らず、子どもの声でのアナウンスというのは他に無いと思います。良かったと思います。結びつくかどうかは別として、考えられるかなと思います。

(事務局)

今後、教育振興計画を策定していく中で、現計画でもございますが、「熱海らしい特色のある教育の推進」の中に、熱海の自然、歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深めるという記述がございます。観光というと、そのまちの光を観るといところが語源となっておりますので、まさしく自然であったり、歴史、伝統、文化というところだと思いますので、そういった点からも教育とは非常に繋がりが強いものだと考えておりますので、そのあたりを踏まえて、計画の中に位置づけていきたいと考えております。

(委員)

今、学校教育について主に意見が出てまいりまして、今までの大綱の中で、私達も事務

局の皆さんと一生懸命考えながら、認定こども園でございますとか、先生のための塾でございますとか、学校教育の方にはかなり力を入れてきたように思います。ですがやはり、教育委員会の責務の中には文化的なもの、図書館を含めて多岐にわたるわけですが、後期ということで、これからのことも考えながら、そちらの方にももう少し力配分が必要かなと思う次第であります。具体的に申しますと、例えば文化的、生涯学習的なものでございましたら、やはりホール、図書館という問題は少しずつ前に進めていかなければならないのかなと感じております。そのあたりの市長のご意見を伺いたいと思います。

(市長)

目標の中に文化という言葉、いくつか具体的な施策が書いてありますけれども、インフラの整備については、学校施設については修繕をしておりますし、また認定こども園、そういったハードの整備をしております。しっかりした教育を行うためには、必要なハードというのが必要であると思っております。文化についても同じで、私は当初の思いのとおり、図書館やホールが市民の集う場としてのハードだと思っておりますので、これについてはしっかり整備してまいりたい。しかし現時点では、まずは緊急を要する保育、子育ての部分を優先させていただき、しかるべき段階でホール、図書館についてもしっかりと方向を検討した上でやってまいりたいと思っております。

(委員)

ありがとうございます。まさにそのとおりだと思います。緊急性という言葉が今、市長から出ましたが、この度、大きな地震が大阪でございまして、私達の住むこの静岡県も大きな災害が起こる可能性が高いと思っております。それからこの間、通学路で大変痛ましい事故が起きてしまいましたが、それについては民間のみならず、市をあげてかからなくてはならないような緊急性を感じております。そういうところからまず十分に手厚くさせていただき、それから後々は、という方向性を示すことも大綱に盛り込んだ方がよいのかなと思います。

(委員)

今後子ども達に興味をもらってほしいことの一つに、デジタル技術というのが大事だと思います。他の市町ではプログラミング教育や、ICTを使った電子黒板ですとか、タブレット導入を進めているところがあるようです。将来10年、20年後には一般的にその技術が必要となる時代になると思います。早めに、熱海市独自で力を入れてほしいなと思います。

(教育長)

タブレットについては昨年度から各校へ配置したり、Wi-Fi環境を整えるということで、緊急性のあるものからということですが、準備は進めていただいているかなと私は感じているところです。今後、予算要求等で優先順位が高いものから進めていきたいと思います。

(委員)

タブレットを使った、デジタル技術に興味を持ってもらうような授業に取り組んでもらえたら面白いかなと思います。

(委員)

今のご意見を踏まえてお願いですが、このタブレットや電子黒板を扱う授業に取り組みながら、ぜひ正しい使い方というのでしょうか、全国的にスマートフォンやパソコンを使いたいじめにつながるようなことが多々報じられていると思います。そういうツールは全て正しく使えばこんなに便利なものはない、しかし一つ間違えば大変暴力的なものに、犯罪になってしまうということ子ども達、ご家庭に教えるということも教育機関のつとめなのだと、新たに盛り込まなければならない状態だと思います。各学校で調査をして、どの位の子ども達が自由に使えるスマートフォンやパソコンを持っているのか。とても高い数字が出ていました。これは親御さんの思いで、安全に子ども達が学校へ行ったり帰ったり、またその後の活動に使えるということで与えるのしょうけれど、逆に危ういところに足を踏み入れてしまう。正しい使い方ということも含めて、こういう教育はぜひ必要かなと思います。

(教育長)

民間の通信会社等で携帯電話安全講座ということで、そういうニーズがあることから実施して下さっておりますし、各学校においても民間の通信会社に講師の依頼をして取り組んでいるところですが、十分かどうかというところにつきましては、多くの子ども達がスマートフォンなどを持っているという状況を考えますと、進めていく必要があるかと思しますので、学校と相談しながら進めてまいりたいと思います。

(事務局)

委員からのご提案、ご意見につきましては、新学習指導要領においても位置づけられております。基本的には教育という視点ではプログラミング教育、そういった切り口で記載されておりますが、やはりその中でもモラルなどの部分について、熱海市の計画の中では

きっちりと記載していきたいと思います。

(委員)

I C Tの活用に関連して、初島の子どもと本土の子どもと通信で繋ぐ、初島のお子さんは少人数なので、高学年になって一緒に勉強する、せっかく通信網があるのでそういったこともI C Tの活用につながるのかなと思いました。それから、教職員の資質・指導力の向上ということで、熱海教師塾を開設していただいておりますが、先生方も多忙だと思いますので、先生方が更に学習したいという思いを持ってらっしゃるのだとしたら、お時間を作っていたきたい。子ども達に返ってくることだと思いますので、そういったことを希望します。

(市長)

初島につきましては光ケーブルが無く、通信について課題があります。こういったタイミングで整備するのかがありますが、少人数校でもI C Tを活用した通信、そういった視点は必要だと思います。

(教育長)

本日も教師塾が開催されますが、学びたいという教師がたくさんおります。そういう先生方のニーズに伝えていくということは当然大切だと思いますし、中身についても、先生方の学びたいという要望に応えられるように、意見を聞きながら進めていくことが大事なところだと思います。

(市長)

他にご意見・ご質問はございますか。

無いようですので、次の議題に移らせていただきます。

議事(3) 次期教育大綱の策定に向けて

(事務局)

資料3にもとづき説明

(市長)

ありがとうございます。ただいま、事務局より大まかなスケジュールの説明がありました。今後、このスケジュールに沿って教育大綱の策定作業を進めて参りたいと思いますが、ここで、今後の教育行政について教育長から所感を述べていただきたいと思います。

(教育長)

今日は次期大綱のスタートということですので、雑ぱくですが私からお話させていただきたいと思います。先ほどもお話ししましたように、学習指導要領改訂に伴い、「主体的・対話的で深い学びの充実」が求められております。それと申しますのも、人工知能によって多くの仕事が奪われてしまうかもしれないという危機感の中で、人工知能の苦手な分野といわれている「自分で考え、判断し行動できる力」と「他者と協力して物事を進める力」の育成が重要であると考えられているからだとは考えています。

また、働き方改革やいじめ、人間関係の希薄さなど、教育界には多くの課題が投げかけられています。そのため、教育におきましても、発想の転換が必要であると考えます。

日本の状況を見ますと、高度経済成長の時代には、良いものを安く作ることで、日本は豊かになり、人口も増加してまいりました。しかしながら、現在は、少子高齢化、個別化・個性化が進み、かつての経済モデルが通用しにくくなってきているように感じます。最近の動向をみますと、アップル社や、ダイソン社のようにデザイン性の優れた製品、良い物を安くではなく、個性のある製品が人々の心をつかんでいるように思われます。

デザイン性の高さを求めることはシンプルで無駄の少ないことにつながるのではないかと、美しさを求めることは、心の成長やモラルの高さにつながるものと考えます。

熱海市におきましては、他の市町と比べて、落ち着いた学校の運営が行われております。現状に満足することなく、さらなる質の向上を目指すことが大切であると考えます。

心の教育については、学校教育はもちろんのこと、地域を上げて、大人を巻き込んで取り組む必要性を強く感じています。

幸い、熱海市には、児童の登下校の際に、ボランティアで安全に気を配ってくださる方々がいらっしゃいます。横断歩道では、多くのドライバーが、停止し安全な横断をサポートしてくださいます。

先週、熱海高校の男子生徒が伊東線の車内で、席を譲っている姿を見かけましたので、名前を聞き、熱海高校の校長先生に良い現われとしてお伝えしました。このような、些細なことであっても、市民の行動の美しさをとらえ発信してゆくことが、結果的に、心の育成、モラルの教育につながるものと考えます。

一方、熱海市には、多くの文化的に価値の高い施設がたくさんございます。市外の皆様だけでなく、市民の皆様にももっと知っていただき、郷土熱海の良さを再確認していただきたいと思います。

各学校・園におきましては、特色ある取り組みを行っておりますので、積極的に発信していくことで、熱海の教育の質の高さをお伝えするとともに、園児・児童・生徒におきましても、母校への誇りを高めていただきたいと思います。個別化、個性化の時代がやってくるわけですので、個性の尊重と伸長、デザイン性の高さや美しさを大切にした教育推進、積極的な情報発信、そして先ほど委員からもご指摘がありました、熱海らしい教育とはなにかということについて考えていくことが、次期教育大綱を作っていくうえでも、これから熱海市の教育の質を更に高めていくためにも必要であると思っておりますので、委員の皆様からも色んなご意見を聞かせていただけるとありがたいなと思っております。

(市長)

ただいま、教育長から今後の教育行政について所感を述べていただきました。私は今聞いた中で、個別化、個性化であったり、デザイン性や美しさというところが、恐らく新村教育長の個性が出ているところだと感じました。キーワードについて皆さんと議論したいと思いますが、幅が広いということと、今日は第1回ですので、熱海らしい教育というのはどういうものなのか、委員の皆さんのお考えをお話いただきたいと思います。

(委員)

熱海市、色々ありますが、芸術や文化に興味を持たせるようにしていくことを積極にしていくなか、これこそが熱海らしい教育、として力を入れていくのもいいかもしれないし、熱海らしいというものを探していくだけではないのかなとも思いました。教育長が仰ったように、デザイン性や美しさを大切にしていける教育ということ、今分かりませんのでこれから勉強させていただきますが、それこそもしかしたら熱海らしい教育の柱になっていくものではないかなとも思いました。

(委員)

熱海らしいって何だろうと考えたときに、温泉があって、海があって、お魚が美味しい。温泉に正しく入れる子どもがいるのかな、と思いました。そういったことを人に伝えられるように、というのも面白いかなとも思いました。熱海独特の文化、他市にはない文化で何か出来ないか。それから、自分で考え判断し行動する力というのが欠けているのかなと思うので、そういったことを伸ばしていけるような。熱海の子は自分で考えて判断できる、災害が起きても自分で判断して身を守ることが出来るよ、というのは将来的に良い力になると思うので。難しいことですが。

(委員)

熱海らしいという私には浮かびません。これだというのが無いところからいくべきだと思います。結果として熱海らしいと思っていただけたら一番嬉しいことですが。例えば、少子高齢化は熱海市はもう何十年以上前からある話です。そこに行き着くまでに、少ない人数の中で一体何をしたのか、何が出来たのか。大人数だから良かったのか、そうではなかったのか。そういったところを検証することからも始まるでしょうし、全国のモデルになるような学校が出来ると可能性はあるのではないかと考えております。そして、嫌なことだらけのように感じてしまうこの世の中の情報を、先ほど教育長からのお話がありましたように、今日も熱海高校の生徒は電車で席を譲った。明日も譲ってくれるでしょう。とか、熱海の中の小中学校生が困っている観光客を助けた。とか、いいことづくめを拾い上げる何かが出来るとも素晴らしいかなとも思いました。例えばそれが新聞でも、オープンサイトでも、誰でも見られるところで、私達の子どもはこんなに成長してくれているよ、ということが見えるというのはあまり例が無いように思います。人は悪いところを探すのはとても上手ですが、いいところを認めて、いいね、あんなふうになりたいね、というふうに思

えることはなかなか難しいのではないかと思います。そういったところが育てられたら、先ほどのキーワードでもあったように、心の成長、豊かさ、モラルの高さというのが自ずとついてくるのでは、とっております。最終的にはそれが熱海らしいね、となってくれたら最高かなと思います。

(委員)

前に文化財審議委員会で、熱海にしかない宝物を見つけようということをしたことがあります。熱海にしかない宝物というのは、熱海の子どもだけでなく大人もどの位知っているだろうか。これは熱海にしかないんだ、こんな素晴らしいものがあるんだということの子ども同士が子どもなりのものでまとめたものを広げていくということが、熱海の良さというものを見つけていくことになると思います。それ自身も一つの勉強だし、まとめたものを違う形で宣伝していくというのも大事な教育かなと思います。文化財というものが、何か大人だけのものになっていて、子どもの方まで広がっていない。大人であっても熱海にどんな文化財があるのか知らない。それを知らせていくだけでなく、子どもを巻き込んで調べたり、まとめたりするというのも大事なことだと思います。

(市長)

非常に難しいテーマです。オブザーバーの方で何かありますか。

(副市長)

本来、関係者ということでお許しを頂かなければ発言は出来ないということで、今の皆さんのご議論を興味深く拝聴させて頂いておりました。熱海らしい教育、どういった考えでそういったものを形作っていけばいいのだろう、という苦しさだと思っております、例えばICTとか英語教育とか、一定の教育手法を使った教育の中身について少し方向性を決める、もしくは人材像を置いて、熱海らしさというのはこういうものだろうと決めていこうというもの。一方で、熱海独自で持っているものと関連づけて郷土教育的なもの、熱海のまちとしての特性から熱海らしい教育というのを導き出していこうとするもの。いずれも熱海らしい教育を考えていく上での、一つの視点なんだろうと思いますが、今も熱海らしい教育ということで、しっかりと後期の計画の中に記載がありまして、夢先生ですとか、それぞれの学校で知恵をしばって特色のある教育をやっているわけですが、更に中身の方向性なのか、育てていくべき人材像でらしさを作っていくのか、セットでもいいかもしれませんし、もしくは郷土教育的に熱海のまちの特性と関連づけていくのか。そのあたりを今後、勉強会などで議論を重ねていく。どちらかという選択ではないかもしれませんが。両方の視点から、熱海らしい教育とはこういうことなんだという最初の議論のスタートだったのかなとお話を伺いながら、私の中で考えていた次第でございます。今日、国や県の参考資料が配布されておりますが、全体の状況や方向感が出ているということもございますので、こういったものをベースにしながら熱海らしい教育というのはどうやって決めていくのか、もしくは熱海のまちの特性から出すのか、というのをこれから行いたいと思います。今日出たご意見もあると思いますので、そういったことも念頭に置きながら、

今後活発な意見交換をしながら方向感を出していく。キックオフとしては、皆様の視点が出たというところだと思います。

(委員)

一つキーワードとして、おもてなしとかホスピタリティとか、人に対する優しさや、人の気持ちが良い分かる、そういった優しい子どもに育てていくということが、熱海らしさの一つではないかと思います。そのためには、心を育てるといのは本をたくさん読まなければならないし、一つのテーマについてみんなで話し合うということをもっと積極的にやっていくことも大事なのかなと、副市長の話聞いて思いました。

(教育長)

今、色んなご意見を伺って感じたことは、これを熱海らしい教育、と決めてしまって推進していくという方法と、先ほど副市長が話をしていましたが、市の特性というところから拾い上げる方法と、こういう人に育てたい、そういうことが出来る人間が熱海らしい人なんだという方法と、切り口がたくさんあると思います。それを今の段階で私も正直いうと見えてきませんが、やはりこの教育基本計画が今後5年、10年先を見通してそこで生きていく子ども達に必要な力をつけるということが大前提としてある。当然熱海らしい教育はその時代になっても、きちんと自立して世の中のため、自分のため、家族のために貢献できる人材を作っていくために必要な資質は何なのか、ということ洗い出していくことは大事なのかなと思ったところです。

(市長)

熱海らしい教育ということについて、まずお聞きしました。もう一つ皆さんに聞きたいことは、教育の目的についてです。どういう人に育ててほしいかということについて。我々が教育の施策を考える中で、自分で考え判断できる、行動できる人、力ということや、他者と協力して物事を進めるとか、色々ありますが、どういう人に育ててほしいのか。そもそもの教育の目指すところといいますか、どういう人に育ててほしいのか。その辺りを伺います。

(委員)

各学校には教育目標があると思いますが、突き詰めていくと、一人一人の子どもの能力を伸ばして、可能性を引き出してやるのが教育の目標であると思います。その目標を達成するためには、教師がそれだけの準備をしなければならない。やはり教師というのは、3つのことが大事だと思います。それは性格を読み取ること、能力を読み取ること、悩みを読み取ること。教師がその3つをしっかりとっておさえ、普通の教育に取り組んでいけば、先ほど言ったような可能性を引き出していけるのではないかと思います。教師の取り組む姿勢、心構えということが一番大事であると思います。

(委員)

いい社会とは何だろう、と考える時に、やはりそこに集う一人一人が幸せで、自分の思い描いた夢に近づいているような、そういう人生を送れるような人がいる社会が、いい社会なんだろうというような話を聞いたことがあります。教育界としても、目標としてはとても高いですが、例えば勉強が得意な子は勉強で頑張れるようなそういうステージに、スポーツならスポーツ、芸術なら芸術と、個性が全て生きるようなステージが用意出来たら、とても良い社会関係になっていくのだろうなと思います。そこに行くまでの橋渡しが私達に何が出来るのかというところを考えていければと思います。一つのものさしに留まらず、たくさんのもんさしを持てるような人が幸せではないかという視点のもとに、そういう子ども達になってもらいたい。そのお手伝いが出来たらそれが教育かなと思います。

(委員)

すごく難しいと思いました。どんなふうに育ててほしいかというところで、自分も子育てをしてきて、基本に返ったところからお話させていただくと、子ども達はいつまでも子どもではなくて、いつか大人になって子どもをまた産み育てていく。その中で、基礎学力と人間関係が大事であると、普段からそう思って私は子育てをやっているのです、まずはそこを育てられたらいいと思っています。その上で、伸ばせるところを伸ばす。それから文化や歴史などを自ら学んでいくことが出来れば一番いいのかなと思います。いつまでも傍にいるものではないので、一人で生きていく力だと思います。

(委員)

社会の一員として、しっかり自分の立ち位置を見据えて、役に立てる人になってもらいたいと思います。そのためにはコミュニケーション能力が大事でしょうし、優しい心を持たなければいけない。誰かのためになるには、勉強しなければならない。勉強することが社会のためになっていくということが喜びに思えるような、そんな子どもに育ててもらえたらいいなと思います。

(教育長)

なかなか整理することは難しいですが、これからの学習指導要領に求められる力というのが、自分で考え判断し行動できる力、他者と協調して物事を進める力。これが一番上にくるのかなと思います。そのために、主体的、対話的で深い学びを充実させてくださいと。自分で学びなさい、そして人と協調して学ぶ。そのことによって、自分の体や頭、資質が高まっていくということを、多分国は想定していると思いますし、やはりそういう力こそがAIに負けない、ちゃんと輝いていける人になっていくのかなと思います。ただそれが熱海らしい教育とどう関わっていくかというところがあるわけで、私自身ももやもやしているところですから、委員の皆さんも私の発言で混乱されている部分もあるかと思いますが、真剣にみんなで考えていくことにより、何らかの方向性がみえてきたらいい

など思っています。

(市長)

人間は一人では生きていけません、生きていく力とよくあります。どうやって食べていくかということではないかと思えます。もちろん、一生どなたかスポンサーを捕まえて生きていく人もいるかもしれませんが、基本は生きていくために食べていく。自分の夢も実現したいですし、結局は自分を食わせていくということが生きていく力であると思っています。また自分の視点で言うと、私は市長なので、熱海市というところに密着して考えます。この地域に密着して生きていきたいと思っていく子どもを育てたいなど。そこが一つの熱海らしい教育につながることはないかなという感じがします。世界へどんどん羽ばたいて行ってほしいですが、自分のルーツというか、根っこというものを持ちながら活躍できる人を育てることが教育の目的なのではないかなと思います。

それからもう一つ、教育長には申し上げましたが、教育大綱については、各校の現場の先生がこれに基づいて、そうだ、これでやるんだ、と。私達は現場と離れているので、現場の先生が奮い立つような、この方向で教育委員会は応援してくれるんだ、と思うようなものを作りたい。そのためには策定プロセスの中で、何らか参画できて、出来上がったときにきちんと意見が入っている。そういうことも私は必要ではないかなと。議長がここまで話しているのか分かりませんが、そういう思いもあります。時期的にどういうものを作るかということもありますけれども、ぜひそういう視点を委員の皆様にも持っていただければと。計画が出来上がってそのまま本棚に積まれてしまうようなことではなく、常に理解し、またそれを出発点としてまた新しく考えたり、そういう大綱にしたいと思っています。

議論は尽きませんが、これで本日の議事は以上です。議事に関わらないことでも委員の皆様から他に何かあればお伺いいたします。

(委員)

市長のお話を聞いて、熱海を誇りに思う子ども達に育ってほしいと、本当にその通りです。そのためには、子ども達が小学校、中学校と育っていく中で、地元のことが大好きになるようなことが一番大事です。他所へ出て活躍されても、やはり熱海に恩返ししたいと戻ってくれるのではないかと思います。市長の話聞いて、その通りだと思いました。

(市長)

委員の皆様、他にございませんか。

それでは以上で本日予定しておりました議事はすべて終了いたしました。活発な意見交換

をさせていただき、ありがとうございました。連絡報告事項について、事務局から説明をお願いします。

6. 連絡報告事項 第1回部会の開催について

(事務局)

資料4にもとづき説明

(市長)

ありがとうございます。ただいま、事務局からの説明が終わりました。この件につきまして、ご意見・ご質問はございますか。

—意見等なし—

7. その他

(市長)

最後にその他です。皆様から何かございますか。

—意見等なし—

8. 閉会

(市長)

以上で平成30年度第1回熱海市総合教育会議を終了させていただきます。長い時間、大変お疲れ様でした。

終了 16:55